

令和元年度 第2回 大槌町デイサービスセンターはまぎく運営推進会議報告書

開催日時	令和2年3月19日(木) 14:00～14:50
開催場所	大槌町デイサービスセンターはまぎく
出席者	・利用者家族代表 1名 ・地域住民代表 1名 ・知見者 欠席 ・町職員 欠席 ・地域包括支援センター 欠席 ・事務局 3名

【協議内容】

1. 活動状況報告
2. 利用者アンケートの調査結果報告と事業所自己評価の報告
3. その他(令和2年度からの運営推進構成員の選出について)

1. 【活動状況報告について】 事務局より

- ・前年度より延べ人数は増加しているが、中重度の受け入れ率が前年度35%に対し今年度は26%と減少。これにより介護報酬額も下がっている。
- ・前年度、平均介護度2.2に対し、今年度は1.8に下がっている(要介護1.2の受け入れ率が高いことによる)。
- ・今年度は、上半期に寺野・白澤地区の自治会、各種団体のご協力により地域交流事業が盛んに行われた。下半期は、毎月恒例となっている大正琴、読み聞かせ、傾聴などのボランティアが継続して活動してくれた。2月後半からは、新型コロナウイルスにより、ボランティア活動の自粛要請を行っている。
- ・今年度強化したサービス内容は、機能訓練で、ご利用者の現状や抱えている身体の悩みなどを反映させる形で2か月毎にテーマを変えて実施。また、自宅でも行えるよう毎月発行の「はまぎく便り」に訓練内容を掲載し自宅でも取り組めるよう機能維持の強化に努めた。これにより、ご利用者にとっても「飽き」の来ない利用が出来、結果として利用実績に反映されたと思う。

2. 【アンケート調査の集計結果について】

- ・前年度同様、全体的に好評を得ているが、レク活動は満足度が過半数を下回る結果となった。事実、職員間でもマンネリ化していることを感じているようだった。原因として、職員の異動により業務担当者の調整もあり、レク活動のフォローが不足気味であったと感じている。また、来年度のアンケートは質問内容を変え、ご利用者が回答しやすいよう取り組みたい。

【事業所内自己評価】

- ・昨年度に比べ、A評価が多かった。事実、人員的には厳しいながらもご利用者個々に対する介護支援は十分にできていたと見ている。特に、プライバシー保護、自尊心に配慮したケアは質が高いと捉えている。また、厳しい人員配置ながらも多岐にわたる業務をよくこなしてくれた。これにより職員間の結束力、チームケアが向上できた。
- ・人員配置についての相談は、既に上席に相談済み。次年度の人員配置に対処していただいた。
- ・他、別紙事業所自己評価に記載内容を報告。

【委員の意見】

～アンケート調査について～

- ・アンケート内容について、来年度は質問内容を変えてみたいと話されたが、利用者の声と言うのは、個々に「好き嫌い」の違いがあり、様々な意見を好き勝手に言うてしまうものである。個の意見は大事であるが、少数の「嫌」と言う意見にあまり振り回されないようにしたほうが良いと思う。
- ・自治会としては、次年度も施設周辺の草刈りを実施したいと考えている。

(質問)

- ・ 構成員＝デイサービスの中重度の受け入れが減った理由は何か？
- ・ 事務局＝前年度、一昨年度前は、町内の短期入所施設の受け入れが職員不足により困難な状況にあったと聞いている。これにより中重度のご利用者がデイサービスを利用したものと感じている。今年度は、入所施設の受け入れ状況が改善し、また、包括的入院（大槌病院での受け入れ）などの社会資源も有効利用された為、介護度の高い利用者は施設系に流れ、デイサービスの利用希望者の多くが、要介護度の低い利用者となった。

3. 【その他】・運営推進構成員の委嘱依頼について

- ・ 地域住民代表、利用者家族代表者は令和2年度～2年間、再委嘱を受諾。他の構成員については今後交渉を進めていく。